



平成 30 年度 岩手県立一関清明支援学校 《概要》

H30.5.1 現在

学 校 名	岩手県立一関清明支援学校	校長名	稲邊 宣彦 (いなべ のぶひこ)																																																																																										
校 訓	清く 明るく たくましく																																																																																												
教育目標	○自分のよさに気づき、自己実現のための向上心をもちつづける人 ○ほかの人を思いやるやさしい気持ちをもつ人 ○心と身体の健康を大切にする人																																																																																												
学 校 の 特 色	○さまざまな教育の場を有する学校 (2校舎 3分教室) ○さまざまな障がいのある幼児児童生徒が学ぶ学校 (4障がい<聴覚・病弱・肢体・知的>)																																																																																												
研究主題	○「4障がいに対応する学校としての授業づくり」																																																																																												
所 在 地	○本 校 舎 : 〒021-0041 一関市赤荻字上台 96 番 5 (TEL 0191-33-1600) ○山 目 校 舎 : 〒021-0056 一関市山目字泥田山下 48 番地 12 (TEL 0191-25-3210) ○あすなろ分教室 : 同 上 ○千厩分教室小学部 : 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場 10-2 (TEL 0191-53-2275) 一関市立千厩小学校内 ○千厩分教室中学部 : 〒029-0803 一関市千厩町千厩字上駒場 195-5 (TEL 0191-53-3181) 一関市立千厩中学校内																																																																																												
沿 革	○平成 20 年 4 月 1 日 岩手県立一関聾学校と岩手県立一関養護学校が統合。岩手県立一関清明支援学校 開校 ○平成 21 年 4 月 1 日 千厩分教室中学部を千厩中学校内に開設 (千厩分教室小学部は平成 19 年開室) ○平成 24 年 2 月 18 日 本校舎を荻荘高梨から赤荻上台 (現在地) に移転 ○平成 24 年 3 月 28 日 山目校舎のうち、中学部、高等部を本校舎に移転 ○平成 24 年 4 月 1 日 本校舎高等部に、知的障がい部門を開設																																																																																												
設置形態	○「聴覚障がい (聴)」「病弱・肢体不自由 (病・肢)」「知的障がい (知)」の 4 障がい種に対応 ■本 校 舎 : 幼稚部 (聴)、小学部 (聴、病・肢)、中学部 (聴、病・肢、知)、高等部 (病・肢、知) ■山目校舎 : 小学部 (病・肢、知) ■あすなろ分教室 : 小学部～高等部 (病・肢) ■千厩分教室小学部 (知・肢) ■千厩分教室中学部 (知・肢)																																																																																												
幼児児童生徒の在籍状況	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2">校舎・分教室</th> <th rowspan="2">障がい種</th> <th colspan="5">幼児 児童 生徒 の在籍数</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>幼</th> <th>小</th> <th>中</th> <th>高</th> <th>小計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">1</td> <td rowspan="3">本校舎</td> <td>聴覚障がい</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>-</td> <td></td> <td>12</td> <td rowspan="3">126</td> </tr> <tr> <td>病弱・肢体不自由</td> <td></td> <td>3</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td></td> <td>-</td> <td>14</td> <td>71</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td rowspan="2">山目校舎</td> <td>病弱・肢体不自由</td> <td></td> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td>10</td> <td rowspan="2">31</td> </tr> <tr> <td>知的障がい</td> <td></td> <td>21</td> <td></td> <td></td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>あすなろ分教室</td> <td>病・肢(重度重複)</td> <td></td> <td>6</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>19</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>千厩分教室(小)</td> <td>知的障がい</td> <td></td> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>千厩分教室(中)</td> <td>知的障がい</td> <td></td> <td></td> <td>5</td> <td></td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td colspan="3">計</td> <td>3</td> <td>60</td> <td>31</td> <td>98</td> <td></td> <td>192</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">* 幼児児童生徒の出身地域 : 一関市 159 名、平泉町 9 名、奥州市 6 名、北上市 3 名、花巻市 2 名 岩手町 1 名、大船渡市 1 名、釜石市 3 名、宮古市 1 名、宮城県 7 名</p>							校舎・分教室		障がい種	幼児 児童 生徒 の在籍数					合計	幼	小	中	高	小計	1	本校舎	聴覚障がい	3	9	-		12	126	病弱・肢体不自由		3	10	16	29	知的障がい		-	14	71	85	2	山目校舎	病弱・肢体不自由		10			10	31	知的障がい		21			21	3	あすなろ分教室	病・肢(重度重複)		6	2	11	19	19	4	千厩分教室(小)	知的障がい		11			11	11	5	千厩分教室(中)	知的障がい			5		5	5	計			3	60	31	98		192
校舎・分教室		障がい種	幼児 児童 生徒 の在籍数								合計																																																																																		
			幼	小	中	高	小計																																																																																						
1	本校舎	聴覚障がい	3	9	-		12	126																																																																																					
		病弱・肢体不自由		3	10	16	29																																																																																						
		知的障がい		-	14	71	85																																																																																						
2	山目校舎	病弱・肢体不自由		10			10	31																																																																																					
		知的障がい		21			21																																																																																						
3	あすなろ分教室	病・肢(重度重複)		6	2	11	19	19																																																																																					
4	千厩分教室(小)	知的障がい		11			11	11																																																																																					
5	千厩分教室(中)	知的障がい			5		5	5																																																																																					
計			3	60	31	98		192																																																																																					

教育課程等	<p><本校舎></p> <p>【聴覚障がい部門、病弱・肢体不自由部門の教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校等の普通教育に準ずる教育課程。 ○ 幼児・児童・生徒の実態に合わせ「自立活動」のほか、「産業社会と人間」等の学校設定教科も設定。 <p>【知的障がい部門、重複障がい部門の教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学校学習指導要領に基いた領域と教科を合わせた指導（「日常生活の指導」、「生活単元学習」、「作業学習」等）や「自立活動」の指導等とおし、働く力や生活する力を育成。 <p><山目校舎、千厩分教室></p> <p>【知的障がい部門、重複障がい部門の教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 特別支援学校学習指導要領に基づき、領域と教科を合わせた指導（「日常生活の指導」、「生活単元学習」、「作業学習」等）や「自立活動」の指導等とおし、働く力や生活する力を育成。
-------	---

進路状況		中 学 部						高 等 部					
	年度	卒業生 (人)	進学	就職	福祉的 就労	施設 入所	その他 在宅等	卒業生 (人)	進学	就職	福祉的 就労	施設 入所	その他 在宅等
	25	22	22					13		5	2	5	1
	26	3	3					23		4	14	5	
	27	16	15			1		24	1	7	9	6	1
	28	19	18			1		40	1	9	19	9	2
29	15	15					23		8	10	5		

職員数	平成30年5月1日現在																								
	職名	校長	副校長	指導教諭	教諭	養護教諭	実習教諭	講師	養護助教諭	栄養教諭	非常勤講師	事務長	主任	主任	主任	運動技士	非常勤学校技術員	主任	介助員	非常勤介助員	医療的ケア対応看護師	嘱託非常勤職員	小計	医学・学校医・学校薬剤師等科	合計
	計	1	3	1	95	2	2	11	2	1	6	1	1	0	2	2	3	2	1	2	7	5	150	6	156

学校経営の方針と重点	<p style="text-align: center;">「学び」「つながり」「ひろがり」</p> <p>学校での「学び」が確かな基礎学力として身につけ、生活の場で生かされ、学校生活から地域での生活へと「つながり」、更に充実した生涯教育へと「ひろがり」、社会の一員として豊かな生活が実現していくことをめざします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 授業の最適化の追求 <ul style="list-style-type: none"> ●個性や能力を生かし、一人一人の着実な成長を後押しできる授業づくりを進めます。 2 進路指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ●学部に対応した進路学習（社会経験）を、作業学習・校内現場実習・福祉サービス体験の充実や進路研修会等の充実をおして取り組みます。 3 連携と協働の強化 <ul style="list-style-type: none"> ●家庭や地域へ情報を発信します。地域資源を活用し、地域企業とのコラボレーションを図りながら、支援学校として地域教育機関への支援を行うなど、より一層の連携と協働を進めます。 4 安全・安心な環境づくり <ul style="list-style-type: none"> ●お互いを認め、尊重し合う意識を育成する学校風土づくりを行いながら、安全・安心な教育環境の整備を行います。さらに、引き続き復興教育（防災教育の充実）を進めます。
------------	---